



与論小だより



ブログはこちらから

学校教育目標：校訓「至誠」を胸に、主体的に考え、行動し、互いに認め、高め合う子供の育成

令和8年度 学校教育目標と5つのプラン

校長 荒殿 博昭

「おはようございます。」朝、正門に立っていると元気のよい声が聞こえてきます。振り返り、私も笑顔であいさつを返します。与論小には、元気よくあいさつができる児童がたくさんいます。1年生も「おはようございます。」の音が大きくなってきました。担任の先生や友達とも大きな声であいさつし、歌声が校舎いっぱい響いています。気持ちのよい朝のスタートです。

令和8年度が始まり、3週間が経とうとしています。4月8日に新任式があり、6人の教職員を迎えました。9日には入学式を実施し、16人の新1年生が入学しました。今年度は、9学級、児童100人、教職員17人です。創立151年目、元気よくスタートしました。

今年度の学校教育目標は「校訓『至誠』を胸に、主体的に考え、行動し、互いに認め、高め合う子供の育成」としました。本校のすばらしい校訓である、至誠【真心をもって人に尽くす・真心をもって事にあたる】を自身の言動の拠り所にして、これからの時代を切り拓いていく「主体性」と「協働性」を伸ばしていきたいと思えます。子どもたちが生きていくこれからは、グローバル化や情報化が進み、先行きの見えない混沌とした時代だと言われます。だからこそ、自分の考えや意見をしっかりと持ち、他者と意見を交流しながら力を合わせ、よりよい方向へ道を拓いていく逞しさが求められます。子どもたちには、主体的に情報を取捨選択し、自分の思いや考えを深め、判断し、行動していく力、そして、多様な人々と協働しながら、課題をよりよく解決していく力等の、これからの時代を「生きる力」を伸ばしてほしいと思えます。

具体的な取組である5つのプラン（左図）は、人権教育をすべての教育の根幹とし、与論町が掲げる「島だちの教育」の具現化を図るものです。まずは知・徳・体のバランスのとれた児童の育成を目指します。確かな学力を身に付け、豊かな心を育て、心も体も健康な人に育ててほしいと思えます。そして、地域の文化や伝統を継承していく活動にも取り組み、郷土を愛し、郷土に誇りをもって郷土を支えていく人材の育成にも努めます。また、私たちも、指導法を研究したり、教職に必要な知識や技能を学んだりしながら日常の教育に還元できるようにしたいと思います。

今年度も学校・保護者・地域が一体となって、児童がいきいき輝く学校作りに努力します。今年度もご理解・ご協力よろしくお願ひします。

